

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
450 観光施設管理事業（観光遊歩道路、片男波海水浴場駐車場等の観光施設の維持管理）

[事業基本情報]

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	3	観光の振興
施策	1	観光客受入体制の整備
基本方針	2	観光基盤施設の保全・充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		商工費
	項		観光費
	目		観光振興費
	大事業		観光振興事業
事項		観光施設管理事業	

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	永年	～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	観光課	西川 隆博 (435-1234)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
	○			
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）	観光施設の維持管理を行い、観光客の受入体制の整備を図る。	事業内容	観光施設の維持管理（市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台等）。		
	実施内容					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		○市営片男波海水浴場駐車場管理運営 ○観光遊歩道路 ○観光燈台 ○案内板設置 ○松くい虫予防事業	○市営片男波海水浴場駐車場管理運営 ○観光遊歩道路 ○観光燈台 ○案内板設置 ○松くい虫予防事業	○市営片男波海水浴場駐車場管理運営 ○観光遊歩道路 ○観光燈台 ○案内板設置 ○松くい虫予防事業	○市営片男波海水浴場駐車場管理運営 ○観光遊歩道路 ○観光燈台 ○案内板設置 ○松くい虫予防事業	○市営片男波海水浴場駐車場管理運営 ○観光遊歩道路 ○観光燈台 ○案内板設置 ○松くい虫予防事業

2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
事業費等 千円	事業費	15,651	15,758	15,207	15,038	15,180		15,180		15,180		
	伸び率 (%)	-	-	-2.8%		-0.2%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	6,259	6,629	6,629	6,483	6,483		6,483		6,483	
		非常勤職員	302	301	301	281	281		281		281	
		小計	6,561	6,930	6,930	6,764	6,764		6,764		6,764	
	国庫支出金											
	県支出金	117	114	121	118	121		121		121		
	市債											
	その他	5,507	5,507	5,665	5,665	5,665		5,665		5,665		
	一般財源（税等）	10,027	10,137	9,421	9,255	9,394		9,394		9,394		
所要人数	常勤職員	0.84	0.87	0.87	0.87	0.87		0.87		0.87		
	非常勤職員	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14		0.14		0.14		
主な予算内訳		駐車場管理運営委託料5,658千円、光熱水費2,280千円										

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	市営片男波海水浴場駐車場利用台数	年度目標値				24,000	17,700	20,000	20,000	20,000
		実績値				16,850	15,036			
	単位	全体目標値	17,700	全体目標達成度	84.9%	年度別達成度	70.2%	84.9%		
					年度目標値					
成果指標	市営片男波海水浴場駐車場利用台数	年度目標値				24,000	17,700	20,000	20,000	20,000
		実績値				16,850	15,036			
	単位	台	全体目標値	17,700	全体目標達成度	84.9%	年度別達成度	70.2%	84.9%	
					年度目標値					
				年度目標値						
				年度別達成度						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している		横ばい	○ 減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	安全・安心で快適な観光地を整備し、維持管理することは、観光客誘致の最も基本的な事業である。近年は、特に健康意識が高いことから、「歩く」という視点で整備を強化していく。
「見直し」 「改善」案	安全・安心で快適な観光地を整備に加え、施設の魅力を向上させるような適切な整備を行っていく。